

研究報告 2021-CH-126

※Windowsの方は[Ctrl]キーを, Macの方は[option]キーを押しながらリンク先をクリックしてください。

5月22日(土)

■ セッション1 [13:10-14:20]

- (1) [言語情報の前方誤り訂正における書誌学の重要性](#)
得丸 久文
- (2) [Digital 技術下の方法論は革命的か—歴史学の場合—](#)
望月 滯
- (3) [深層学習を用いた石造物の検出と分類](#)
小池 隆

■ 学生ポスターセッション[14:35-15:35]

- (4) [仏教図像の3次元モデル化に関する検討と実践](#)
鈴木 政宏
- (5) [デジタル楽譜の類型化とデジタル楽譜文化を支えるフォーマットについての考察](#)
関 慎太郎
- (6) [デジタル時代における多様な資料継承の仕組みを包括する議論モデルの提案](#)
大月 希望, 大向 一輝, 永崎 研宣, 佐倉 統

■ セッション2 [15:45-16:50]

- (7) [消滅危機言語の辞書データベースの構築と公開:「鳩間方言音声語彙データベース」、「うちなぐち活用辞典テキストデータベース」の事例報告](#)
中川 奈津子, 加治工 真市, 宮良 信詳
- (8) [原本玉篇の江戸期写本—巻19 残巻の錯簡について](#)
鈴木 俊哉
- (9) [デジタルコーパスを用いたデータ駆動型の間テキスト性研究:古代末期エジプトの二人の修道院長のコプト語書簡におけるコプト語訳聖書からの引用の探知と分析](#)
宮川 創